

2019

Interim Mini Disclosure

HOKUHOKU REPORT

ミニディスクロージャー誌 2020年3月期・営業の中間ご報告



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.



取締役社長 庵 栄伸
(北陸銀行 頭取)

取締役副社長 笹原 晶博
(北海道銀行 頭取)

皆さまには、日頃よりほくほくフィナンシャルグループおよび当社グループ会社に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

また、このたびの「令和元年台風第19号」により被災された皆さまに、心からお見舞いを申し上げます。

ここに、当社グループの「ミニディスクロージャー誌(2020年3月期・営業の中間ご報告)」をお届けいたします。本誌では、2019年度中間期の業績ならびに各種取り組みなどをご紹介しますので、ご高覧いただき、ご理解を賜れば幸いに存じます。

当社グループの主要営業地域である北陸三県の経済は、生産の拡大の動きに一服感がみられるものの、個人消費は緩やかに拡大しつつあり、雇用情勢も着実に改善し、人手不足感が強まっております。また、北海道においては、住宅投資や観光産業の一部に弱めの動きがみられるものの、公共投資、設備投資が増加しており、景気は緩やかに拡大しております。一方で、私ども地域金融機関を取り巻く経済環境においては、超低金利環境の継続、異業種からの参入、少子高齢化・人口減少の影響等により年々厳しさが増しております。

こうした環境のなか、当社グループは2019年4月より新中期経営計画「ALL for the Region」をスタートいたしました。本計画では、「地域社会発展への貢献」「未来への進化・変革」「グループ総合力の発揮」の基本方針のもと、当社グループ全従業員が、「Face to Faceのお客さまに寄り添ったサービス」と「利便性を追求したデジタル金融サービス」の両面で進化し、持続的に地域に貢献する体制の構築に取り組み、ビジネスモデルの変革とグループシナジー拡大を成し遂げます。地域No.1の金融サービスの提供を通じてお客さまと地域社会に貢献することで、お客さま・地域社会と私共の共通価値を創造し、地域と共に成長・発展する総合金融グループを目指してまいります。

皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2019年12月

経営理念

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

地域共栄

社会的使命を実践し、地域社会とお客さまとともに発展します。

公正堅実

公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。

進取創造

創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

目次

ごあいさつ	01
中期経営計画	02
業績ハイライト	03
グループの概要	07
ネットワーク	08
ESG・SDGs	09
株式のご案内	18

中期経営計画の概要

『ALL for the Region』 2019年4月～2022年3月

当社グループ全役員が、「Face to Faceのお客さまに寄り添ったサービス」と、「利便性を追求したデジタル金融サービス」の両面で進化し、持続的に地域に貢献する体制構築に取り組む期間

目指すグループ像

地域No.1の金融サービスの提供によりお客さまと地域社会に貢献することで、
共通価値を創造し、地域と共に成長・発展する総合金融グループ



3つの基本方針

地域社会
発展への
貢献

共に課題に向き合い、地域とお客さまの発展に資するソリューション提供に努める。

未来への
進化・変革

技術革新やニーズの変化を捉えた金融サービスを提供しお客さまの期待に応える。

グループ
総合力の
発揮

グループ連携を強化するとともにグループ最適の推進・管理体制を構築する。

共通価値の創造

2022年3月期 重点指標

	2018年度 実績	2019年度 中間実績	2021年度 (最終)
本業利益 (2行合算)*	180億円	78億円	220億円以上
当期純利益 (連結)	243億円	116億円	220億円以上
自己資本比率 (連結)	9.09%	9.29%	8%台維持
OHR (2行合算)	68.85%	70.11%	60%台維持

*本業利益については、当社独自の基準として「コア業務純益－有価証券利息損益」にて算出しております。

営業の概況

■ ほくほくフィナンシャルグループ連結

(単位: 億円)

	2019年 9月期	前中間期比	2018年 9月期
経常収益	906	△ 12	918
経常利益	174	△ 20	194
親会社株主に帰属する中間純利益	116	△ 23	139
自己資本比率	9.29%	△ 0.49%	9.78%

当社における2019年9月期の業績につきましては、連結経常収益は前中間期比12億円減少の906億円、連結経常利益は前中間期比20億円減少の174億円、親会社株主に帰属する中間純利益は前中間期比23億円減少の116億円となりました。

連結自己資本比率は9.29%となりました。

■ 北陸銀行・北海道銀行 <2行合算>

(単位: 億円)

	2行合算		
	2019年 9月期	前中間期比	2018年 9月期
経常収益	812	△ 24	836
コア業務粗利益	613	△ 26	640
経費(臨時処理分を除く)	430	△ 7	437
コア業務純益	183	△ 19	203
除く投信解約損益	169	△ 19	189
与信費用	51	45	5
経常利益	177	△ 28	206
中間純利益	124	△ 31	155

2行合算では、経常収益は前中間期比24億円減少の812億円となり、中間純利益は前中間期比31億円減少の124億円となりました。

北陸銀行では、経常収益は前中間期比6億円減少の447億円となり、中間純利益は前中間期比26億円減少の65億円となりました。

北海道銀行では、経常収益は前中間期比17億円減少の365億円となり、中間純利益は前中間期比5億円減少の58億円となりました。

(単位: 億円)

	北陸銀行		
	2019年 9月期	前中間期比	2018年 9月期
経常収益	447	△ 6	454
コア業務粗利益	333	△ 16	350
経費(臨時処理分を除く)	230	△ 4	235
コア業務純益	102	△ 11	114
除く投信解約損益	95	△ 8	104
与信費用	42	43	△ 0
経常利益	99	△ 27	126
中間純利益	65	△ 26	92
自己資本比率	8.92%	△ 0.29%	9.21%

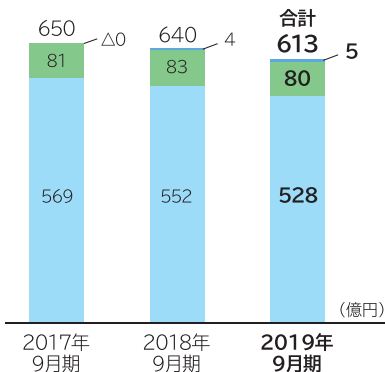
(単位: 億円)

	北海道銀行		
	2019年 9月期	前中間期比	2018年 9月期
経常収益	365	△ 17	382
コア業務粗利益	280	△ 10	290
経費(臨時処理分を除く)	199	△ 2	201
コア業務純益	80	△ 7	88
除く投信解約損益	73	△ 10	84
与信費用	8	2	6
経常利益	78	△ 1	80
中間純利益	58	△ 5	63
自己資本比率	8.98%	△ 0.46%	9.44%

損益の状況

■ コア業務粗利益<2行合算>

■ その他
■ 役員取引等利益
■ 資金利益



資金利益 **528億円**

貸出金利息、有価証券利息の減少により、前中間期比23億円減少しました。

役員取引等利益 **80億円**

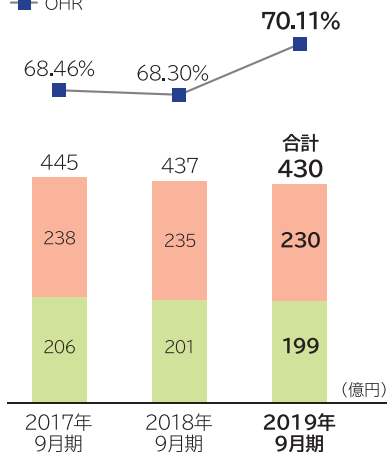
投資信託手数料の減少により、前中間期比3億円減少しました。

コア業務粗利益 **613億円**

上記の結果、前中間期比26億円減少しました。

■ 経費<2行合算>

■ 北陸銀行
■ 北海道銀行
■ OHR

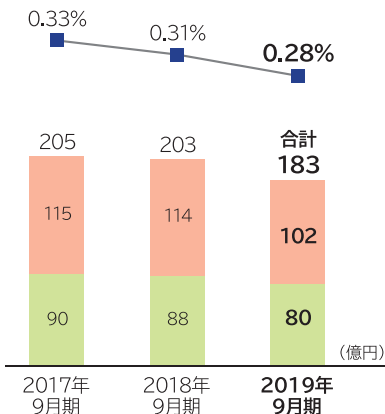


経費 **430億円**

人件費が減少したことから、前中間期比7億円減少しました。

■ コア業務純益<2行合算>

■ 北陸銀行
■ 北海道銀行
■ ROA

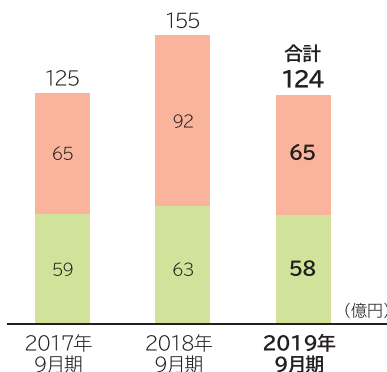


コア業務純益 **183億円**

経費は減少しましたが、コア業務粗利益の減少により、前中間期比19億円減少しました。

■ 中間純利益<2行合算>

■ 北陸銀行
■ 北海道銀行



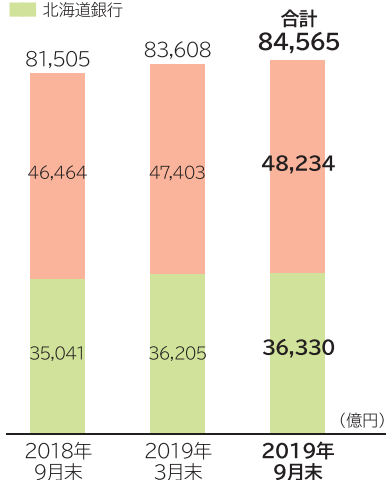
中間純利益 **124億円**

国債等債券損益は増加しましたが、株式等損益の減少および与信費用の増加により、中間純利益は前中間期比31億円減少しました。

貸出金・預金等の状況

■ 貸出金<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行



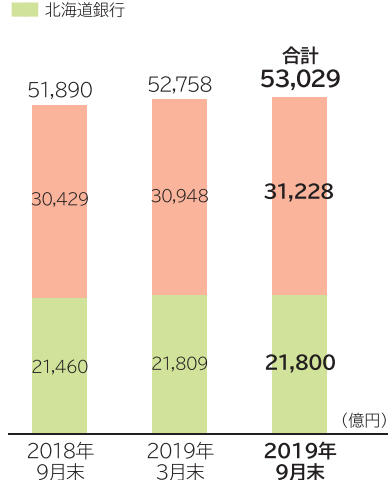
貸出金

8兆4,565億円

個人ローン、地方公共団体等向け貸出の増加により、前中間期末比3,059億円増加しました。

■ 中小企業等貸出<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行



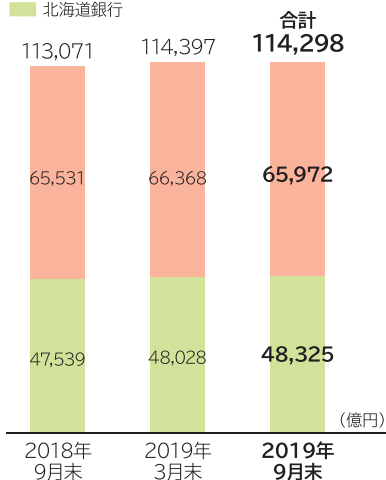
中小企業等貸出

5兆3,029億円

地域の資金需要を積極的に取り込んだ結果、前中間期末比1,138億円増加しました。

■ 預金(含む譲渡性預金)<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行



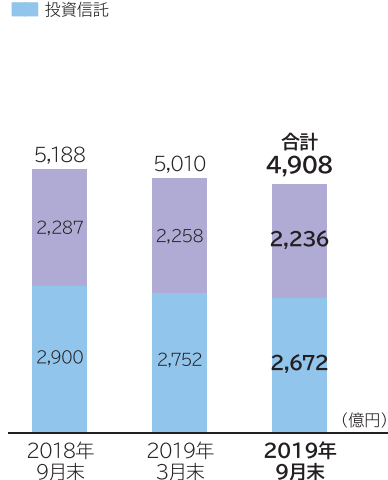
預金(含む譲渡性預金)

11兆4,298億円

個人預金が増加し、前中間期末比1,227億円増加しました。

■ 個人預かり資産(公共債、投資信託)<2行合算>

公共債
投資信託



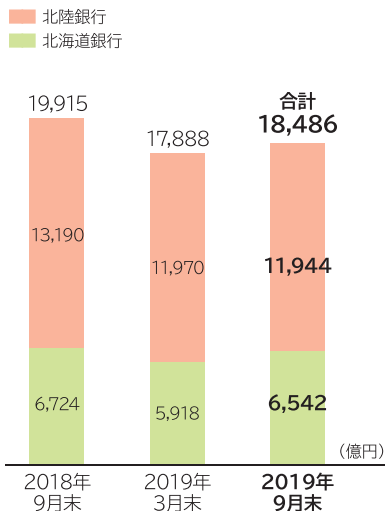
個人預かり資産

4,908億円

公共債、投資信託が減少したことから、前中間期末比279億円減少しました。

有価証券残高・健全性の指標

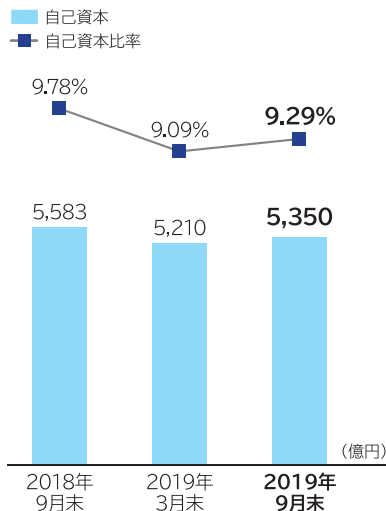
■ 有価証券残高<2行合算>



有価証券残高
1兆8,486億円

有価証券残高は、満期償還により国債が減少しましたが、地方債や外国証券、投資信託などが増加し、2019年3月末比597億円増加しました。

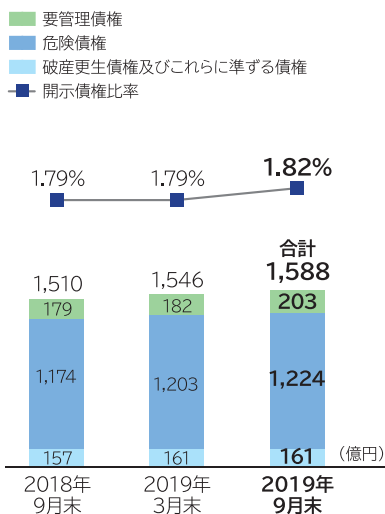
■ 自己資本比率<FG連結>



自己資本比率
9.29%

利益による剰余金の積上げにより自己資本が増加したことなどにより、2019年3月末比0.20ポイント上昇しました。

■ 金融再生法開示債権<2行合算>



金融再生法開示債権
1,588億円

2019年3月末比41億円増加しました。

開示債権比率
1.82%

2019年3月末比0.03ポイント上昇しました。

■ 格付

格付投資情報センター
R&I



「格付」は、利害関係のない第三者機関である格付会社が企業の信用度や債務履行能力を簡潔な記号で表したものです。

当社、北陸銀行および北海道銀行はR&Iより「A」の格付を取得しており、信用力は高いとの評価を得ています。また、北陸銀行はS&Pより「A-」の格付も取得しています。

銀行持株会社



**Hokuhoku
Financial
Group, Inc.**

■ 資本金 708億9,500万円

■ 発行済株式 普通株式 132,163,014株
第1回第5種優先株式 107,432,000株

取締役の役職および氏名

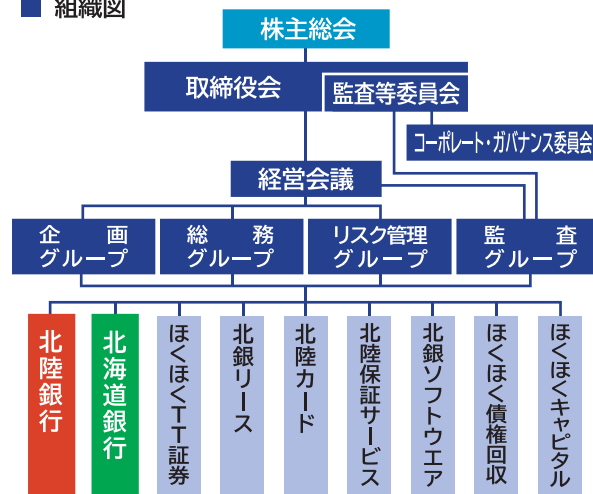
役職名	氏名	役職名	氏名
取締役社長	庵 栄伸	取締役	加地 賢幸
取締役副社長	笹原 晶博	取締役監査等委員(常勤)	北川 博邦
取締役	麦野 英順	取締役監査等委員(社外)	川田 達男
取締役	兼間 祐二	取締役監査等委員(社外)	中川 了滋
取締役	中澤 宏	取締役監査等委員(社外)	眞鍋 雅昭
取締役	小林 正彦	取締役監査等委員(社外)	鈴木 伸弥

- 従業員の数 専任者5名
- 設立日 2003年9月26日
- 各組織の構成および役割等

取締役会	グループ全体の経営にかかる重要方針を決定し、持株会社ならびに子会社の経営管理・リスク管理・監査について管理監督します。4名の社外取締役を選任し、経営から独立した視点を取り入れ、監督機能を強化しています。
監査等委員会	監査の方針・計画・方法や、選定監査等委員の職務の遂行に関する事項を決定し、取締役の職務の執行の監査や、監査等委員以外の取締役の選任・報酬等についての意見の決定等を行います。
コーポレート・ガバナンス委員会	社外取締役および常勤監査等委員で構成し、当社グループの持続的な成長および長期的な企業価値の向上を目的に、社外取締役間の情報交換や認識共有、当社重要事項への助言を行います。
経営会議	当社の常勤取締役で構成し、取締役会で決定した基本方針に基づき、全般的な業務執行方針および各部門の特に重要な業務執行に関する事項を決定します。

- 名称 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ
本店所在地 富山市堤町通り1丁目2番26号
業務の内容 1. 傘下子会社の経営管理および附帯業務
2. その他銀行法が認める業務

■ 組織図

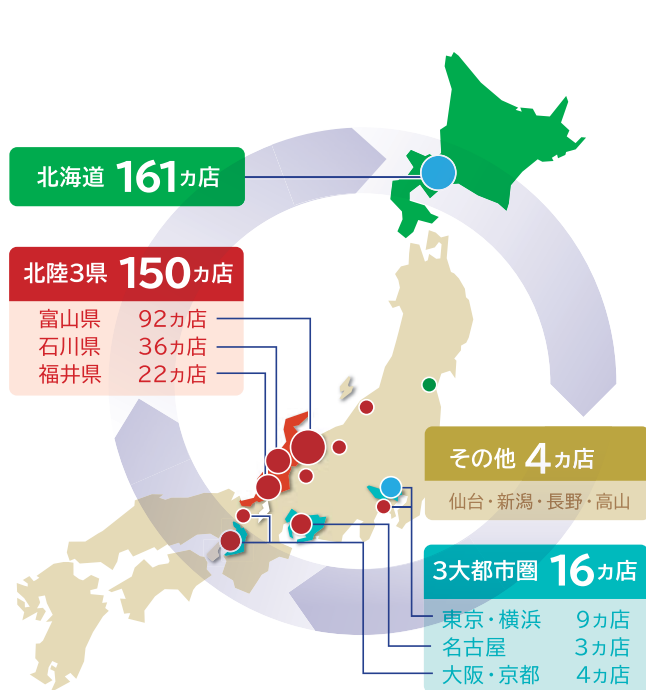


■ グループ各社の内容

(株)北陸銀行	ほくほくフィナンシャルグループの中核企業として、総合金融サービスの提供を行っています。
(株)北海道銀行	ほくほくTT証券(株)
ほくほくTT証券(株)	証券会社として、株式や投資信託、債券等、幅広い運用商品の提供を行っています。
北銀リース(株)	リース業務、代金回収業務などを行っています。
(株)北陸カード	JCB・VISAのカード業務、北陸銀行のカードローン「スーパーNOW」等の信用保証業務などを行っています。
北陸保証サービス(株)	住宅ローンやマイカーローンなどの個人向けローンの信用保証業務、不動産担保調査受託などを行っています。
北銀ソフトウェア(株)	コンピュータシステムの開発・保守・管理業務の受託および販売業務などを行っています。
ほくほく債権回収(株)	銀行の個人向けローン管理業務受託、地域の企業再生支援およびグループ内の債権回収・整理業務などを行っています。
ほくほくキャピタル(株)	株式公開の立案・アドバイ業務、社債引き受け業務、ベンチャーキャピタル業務などを行っています。

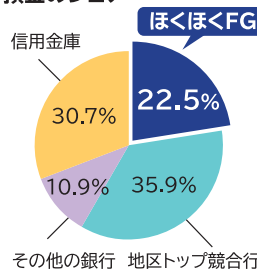
広域ネットワークを活かした情報・サービスでお客さまをサポート

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域のお客さまの繁栄に貢献していきます。

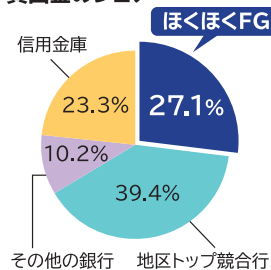


北海道内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア

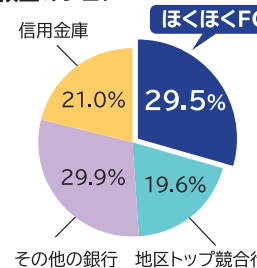


貸出金のシェア

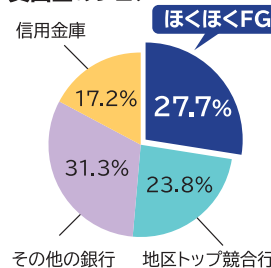


北陸3県内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア



貸出金のシェア



※シェアは、2019年3月末現在。日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、信金中金地域・中小企業研究所「信金中金月報」などにより当社にて作成。
※「地区トップ競合行」「その他の銀行」のシェアは推定値。ゆうちょ銀行は除く。

グローバルネットワークで海外進出をバックアップ

グローバル化の進展により、ますます活発化するお取引先の皆さまの海外進出ニーズにお応えするため、当社グループでは海外ネットワークの充実に努めていきます。

- | | |
|----------------|-------------------|
| ① ニューヨーク駐在員事務所 | ⑥ 大連駐在員事務所 |
| ② ロンドン駐在員事務所 | ⑦ 瀋陽駐在員事務所 |
| ③ バンコク駐在員事務所 | ⑧ ウラジオストク駐在員事務所 |
| ④ シンガポール駐在員事務所 | ⑨ ユジノサハリンスク駐在員事務所 |
| ⑤ 上海駐在員事務所 | |

海外駐在員事務所 9 拠点

北陸銀行 6 北海道銀行 3



ほくほくフィナンシャルグループは、企業の持続的成長のために必要とされるESG（環境、社会、ガバナンス）や、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）等の視点を踏まえて、CSR基本方針のもとそれらの課題に対応した活動に積極的に取り組み、当社グループ、地域経済および地域社会の持続的な発展を目指します。

その一環として2019年4月1日「ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言」を表明し、「CSR活動における取り組み重点テーマ」を制定しました。

ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえたCSR活動に積極的に取り組むことにより、地域経済、地域社会のSustainability（持続可能性）の向上を目指してまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変革するための17の目標



Public Private ACTION for Partnership!!

～SDGsで日本を元気に、世界を元気に
その主役はあなたです！～

2019年4月1日

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

取締役社長 庵 栄伸

CSR活動における取り組み重点テーマ

ほくほくフィナンシャルグループでは、常に変化する社会動向や地域社会における重要度にCSR活動を適応させるべく、様々な課題について「地域社会に与える影響度」と「当社グループの企業価値への影響度」を考慮したプロセスを経て、下記の重点テーマを特定しました。

経営理念	重点テーマ
地域共栄	持続可能な地域社会の実現 
	◆SDGsやESG等の課題を踏まえた建設的対話の促進等による地域金融機関としての責任ある投融資への取り組みやスタートアップ企業や地域における成長企業への積極的な支援を通じた安定的な雇用創出への取り組み、各種自治体やお客さまとの連携の促進により持続可能な地域社会の実現に貢献する 
	◆再生可能エネルギーの利用促進、温室効果ガス排出量の削減等環境負荷の低減に努める  
公正堅実	地域における金融リテラシーの向上 
	◆金融経済教育や金融コンサルティングによりお客さまや子供たちの金融リテラシー向上に取り組み、将来に向けた資産形成や円滑な事業・資産承継を支援する 
進取創造	健全で強靱な経営基盤の構築 
	◆ステークホルダーとの対話促進により透明性を高め、ガバナンスの高度化や各種リスク管理の徹底、更なるコンプライアンスの強化により強靱な経営基盤を構築する 
進取創造	すべてのお客さまにとっての利便性の向上 
	◆先進的ですべてのお客さまがアクセスしやすく安心して利用できる金融商品・サービスの提供を通じて、更なる利便性の向上に努める  
	生産性向上に繋がる職場づくり 
	◆多様な人財の活躍推進や育児・介護等の両立支援等の働き方改革推進、将来を担う人財の育成を通じ、働きがい・やりがいを持てる職場づくりに取り組む  



北陸銀行の取り組みをご紹介します!

北海道銀行の取り組みをご紹介します!



持続可能な地域社会の実現

ほくほく
FG

「震災時元本免除特約付き融資」の取り扱いを開始

4月、「震災時元本免除特約付き融資」の取り扱いを開始しました。大規模地震発生時のリスク対策やBCP(事業継続計画)に対する関心が高まっており、地域金融機関として震災発生時の事業の継続・復旧対策に積極的に関与していくことを目的としております。

本融資により、大地震発生に伴う売り上げ減少、復旧費用、製品製造中止など財務面の損失補てんが可能となり、あらかじめ特定された震度観測地点において、震度6強以上の大地震が発生した場合に、融資元本の100%または50%が免除となる特約付き融資です。



北海道銀行

「北海道日本ハムファイターズ」冠試合を開催

4月、グランドパートナーとして応援している北海道日本ハムファイターズ公式戦にて「北海道銀行スペシャルデー」を開催しました。ベースランニングやダグアウトツアー等各種イベントも実施し、試合とともに楽しみいただきました。



北海道銀行

台湾・極東ロシア訪日旅行客をターゲットとしたメディア招聘事業を実施

5月、台湾のメディア関係者へ台湾インバウンド観光客向けの北海道ならではの「食・観光」を紹介し、8月には、ロシア(ウラジオストク)のメディア関係者へロシアインバウンド観光客向けの「北海道・東北地方・新潟県の観光の魅力」を紹介しました。それぞれ北海道の観光情報として発信されることで、インバウンド観光客の誘客を目指した招聘事業を実施しました。



北海道銀行

学校法人札幌学院大学との包括連携協定の締結

7月、学校法人札幌学院大学と包括連携協定を締結しました。産学連携を通して、人材育成やスポーツ振興の発展に寄与し、地域経済の発展ならびに地域社会の活性化を目指します。



北陸銀行

TGC TOYAMA 2019開催に協力

7月、昨年に続き富山で2回目の開催となった東京ガールズコレクションプロデュース「プレステージ・インターナショナル presents TGC TOYAMA 2019 by TOKYO GIRLS COLLECTION」に協力企業として参加しました。

「富山をもっと元気に!」という思いのもとに今回も誘致を働きかけ、SDGsに通じる地域経済の活性化や女性が輝く社会の推進に向けて積極的に協力しました。県内外から若い女性を中心に延べ約7,500人が来場して会場は熱気と歓喜に包まれました。また、関連イベントのグルメフェスや花火大会にも延べ約28,000人が来場し、大いに盛り上がりました。



北陸銀行

人材紹介業を開始

7月、人材紹介業者4社と提携し、人材ニーズを有する企業に対し経営層や管理者層、専門的な知識を持つ人材などを紹介する人材紹介業を開始しました。これによりお取引先の経営戦略の策定・実行支援から経営人材等の採用に至るまでのコンサルティングサービスがワンストップで提供できる体制が整いました。銀行本体が人材紹介業務の免許(有料職業紹介事業の許可)を取得するのは、北陸三県に本店を置く金融機関で初めてです。

人材紹介業務を通じ、都市部人材の地元地域への還流を促し、お取引先の経営課題解決、持続的成長の実現に向けた支援をすることで、地域経済の活性化に貢献してまいります。

北陸銀行 富山市とSDGsの推進に関する包括連携協定締結

8月、「SDGsの推進に関する富山市と北陸銀行との包括連携協定」を締結しました。SDGs推進に関する外部機関との連携協定は初めてとなります。連携協力事項では、「地域経済の活性化・産業振興に関すること」や「教育文化の振興に関すること」など7項目を掲げています。

今後は、本連携協力事項に基づき、SDGsを推進する企業向けの商品の取り扱い推進や、セミナー等を通じた地域企業の活性化支援、健康経営に関する普及啓発、地域の環境保全活動、リテラシー向上のための金融教育活動などで、相互の連携と協力を図り、地域社会の持続的な発展を目指してまいります。



北海道銀行 鷹栖町と株式会社三友システムアプレイザルの連携協定をコーディネート

9月、北海道銀行のコーディネートにより、鷹栖町と株式会社三友システムアプレイザルが空き家対策に関する連携協定を締結しました。

両者は、空き家の有効活用や解消等を図ることを目指して協働し、北海道で初めて空き家対策の担い手強化・連携モデル事業として、鷹栖町で「空き家調査員養成事業」が実施されます。本事業実施における両者の協働に対して助言やサポートを行います。



北海道銀行 「どうぎんカーリングクラシック2019」を開催

8月1日から4日までの4日間、5回目となる「どうぎんカーリングクラシック2019」をどうぎんカーリングスタジアムで開催しました。昨年より参加チームも増え、国内外から男女各10チームが熱戦を繰り広げ、多くの来場者にトップレベルの戦いを楽しんでいただきました。



北陸銀行 ESGに配慮した環境改善に資する「グリーンボンド」を購入

9月、三井不動産が発行するESGに配慮したグリーンプロジェクトに資する債券「グリーンボンド」を購入しました。本債券は、省エネルギー事業に取り組む高層ビルとして本年3月に完成し、北陸銀行・北海道銀行の東京支店が入居する日本橋室町三井タワーの保留床取得資金のリファイナンスとして充当されます。日本橋室町三井タワーは、「日本橋スマートエネルギープロジェクト」による電力・熱供給を受けることにより、エネルギーの有効利用で省エネ・省CO₂を実現するだけでなく、高い防災力を備えています。

本債券の購入を通じて、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）のうち、目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」の達成等にも貢献してまいります。



地域における金融リテラシーの向上

北海道銀行 「資産づくりの第一歩応援キャンペーン」の実施

6月10日～7月30日、地域再生・活性化ネットワーク参加行9行との共同企画として「資産づくりの第一歩応援キャンペーン」を実施しました。

北海道銀行は、お客さまの資産形成ニーズに対して最適な提案を行い、お客さまの資産づくりを応援するものとし、9行それぞれが実施するキャンペーンにおいて抽選で各行500名様(合計4,500名様)に各地の特産・名産品(18種類)を集めたオリジナルカタログギフトをプレゼントしました。魅力ある企画を通じて投資信託や生命保険を活用した資産形成のきっかけづくりとなるよう取り組んでまいります。

北海道銀行 「夏休み親子で銀行体験」を開催

8月、夏休み期間中に小学生を対象とした金融教育イベント「夏休み親子で銀行体験」を道内8店舗で開催しました。123名の子ども達が参加し、1億円の重さを体感したり、銀行でのお札の数を数える札勘体験を行い、楽しくお金や銀行について知っていただきました。



北陸銀行 金融経済授業「出前授業」に全店で取り組み

7月から、ESG・SDGs推進の一環として、小中高校生はじめ若年層の金融経済教育を推進するため、全営業エリアの学校等に出向き「出前授業」を展開しております。若年層の金融リテラシーの向上を図り、将来の健全なマネーライフを支援し、持続可能な社会経済の発展に貢献していくことを目的としています。

営業店長が講師となり、お金の役割や計画的にお金を使うことの大切さを伝えるとともに、ライフプランについて考え、家計管理の大切さや資産形成の必要性、金融商品の種類や特徴、ローンのしくみなどについて学んでいただいております。



北陸銀行

「ビジネスに活かすSDGs実践セミナー」の開催

9月、企業や事業主を対象に、SDGsへの理解を深めていただき、SDGsに資する活動やビジネスチャンス拡大につなげていただくことを目的として、富山市で「ビジネスに活かすSDGs実践セミナー」を開催しました。

第一部では「SDGsのポイントと活用事例」についての講演、第二部では「自分の仕事と地域の課題をSDGsの視点で考える」をテーマにワークショップを行いました。富山県・富山市・南砺市よりSDGsの取り組みと課題の発表を受けて、参加者は自社・自身の仕事とSDGsを紐づけて考え、グループに分かれて意見交換を行いました。参加者からは「SDGsに対する理解が深まり、

モチベーションが上がった」「他業種の方とのグループワークが有意義だった」などのお声をいただきました。



健全で強靱な経営基盤の構築

ほくほく
FG

次期共同利用システムについての基本合意

5月、北陸・北海道・横浜・七十七・東日本の5行の共同利用システム「MEJAR」について、ハードウェアやソフトウェアを環境の変化に応じて柔軟に選択できる「オープン基盤」の採用を第一候補とするシステムの検討に着手することで基本合意しました。これにより、将来的な機能の拡張性や費用面での優位性を得られ、最新技術の活用も可能となります。移行は2023年度以降の予定です。

ほくほく
FG組織改正
本部部署の名称・機能統一と経営企画機能の強化

6月、組織改正を行いました。北陸銀行・北海道銀行との連携・協業をさらに発展させ、ほくほくフィナンシャルグループ一丸となって中期経営計画に掲げる目指す姿を実現するため、本部部署の名称・機能の統一化を進めます。また、ほくほくフィナンシャルグループ全体での意思決定の迅速化、業務の効率化、機能集約化等を目的に、ほくほくフィナンシャルグループの企画グループおよび両行の経営企画部を新体制に移行しました。具体的には北海道銀行経営企画部の一部業務を富山に移し、ほくほくフィナンシャルグループの企画グループおよび北陸銀行経営企画部と、北陸銀行本店内において一体的な業務運営を行ってまいります。

すべてのお客さまにとっての利便性の向上

北海道銀行 道内信用金庫とのATM相互無料提携の実施

6月に釧路信用金庫と、9月には遠軽信用金庫、10月には渡島信用金庫・北空知信用金庫とATMの相互無料提携を実施しました。本提携により相互のお客さまが、他行利用手数料無料でご利用いただけるATMが大幅に増加することで、お客さまの利便性が向上しました。



北海道銀行 株式会社リージョナルマーケティングとの業務提携

7月、株式会社リージョナルマーケティングと業務提携し、同社が提供するQRコード決済サービス「RM Star Pay」の取次業務を開始しました。本年より取扱開始の「J-Coin Pay」および「ほくほくPay」や、「LINE Pay」「PayPay」等の国内主要QRコード決済の他、多くの中国人ユーザーが利用する「ALIPAY」「WeChatPay」等の幅広いQRコード決済ニーズに対応することが可能となりました。

北海道におけるキャッシュレス化を促進させるとともに北海道経済の活性化に取り組んでまいります。



北陸銀行 ほくぎんJCBビジネスデビット募集開始

9月、株式会社北陸カードと共同し、株式会社ジェーシービーとの間で、法人代表者・個人事業主向けデビットカード「ほくぎんJCBビジネスデビット」の募集を開始しました。JCBグループの金融機関として初めての取り扱いとなります。

本商品は、クレジットカードと違い、与信審査なくお申込みができます。また、ショッピング枠のような利用限度がなく、預金残高の範囲内であれば、仕入れ資金などB to B取引のほか、ECサイトでも利用できるのがオフィス用品の購入等、幅広い用途での利用に便利です。出張や接待時の従業員様による立替精算や事前の現金の用意も不要となるため、キャッシュレス化による業務簡素化・効率化を図ることができます。



生産性向上に繋がる職場づくり

北陸銀行 ほくほく健康マイレージの導入

北陸銀行健康保険組合 ほくほく健康マイレージ



7月、北陸銀行健康保険組合との共同プロジェクトとして「ほくほく健康マイレージ」制度を導入しました。ウォーキングや生活習慣改善チャレンジといった健康に関する取り組みを行うことでポイントを獲得して、様々な商品に交換することができる仕組みです。北陸銀行は2年連続で「健康経営優良法人(ホワイト500)」に認定されており、引き続き従業員一人ひとりの健康に資する活動を応援することで、組織全体のさらなる活性化、ならびにSDGs目標3「すべての人に健康と福祉を」への取り組みを推進していく方針です。

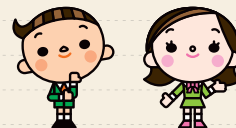


ほくほく FG

RPAで業務改革を促進

昨年導入し対象業務を拡大中のRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)はこれまで年間約50,000時間の業務時間削減を実現しました。

これまで融資業務、本部集中業務といったパソコン業務を中心にRPA化しておりますが、これらに加え現在は営業店業務の効率化も試行し、勘定系端末にもRPAを導入し対象業務を拡大することで、さらなる生産性向上および業務効率化を追求していきます。



北陸銀行 ダイバーシティの推進

8月、北陸銀行、インテックおよび北陸電力の3社で設立した「輝く! COSMOS project」において、子育てしながら働く女性社員を対象としたセミナーを富山市で開催しました。「仕事と家庭の両立」というテーマでディスカッションし、育児に関するお互いの悩みなども相談しあうことによって、自分のキャリア形成や働き方を考える機会となり、モチベーションアップにも繋がりました。



決算期	毎年3月31日	
定時株主総会の基準日	毎年3月31日	
定時株主総会	毎年6月	
剰余金の配当の基準日	3月31日および中間配当金の支払いを行うときは9月30日	
1単元の株式数	100株	
証券コード	8377	
上場証券取引所(普通株式)	東京証券取引所(第一部)および札幌証券取引所	
公告方法	電子公告により当社ホームページ(https://www.hokuhoku-fg.co.jp/)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	
株式事務取扱場所	株主名簿管理人・特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
	お問い合わせ先・郵便物の送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

みずほ
フリーダイヤル **0120-288-324**
受付時間：平日9時～17時(土・日・祝祭日を除く)

■株式に関する諸手続きについて

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記のいずれかの窓口にお問い合わせください。

① 普通株式をご所有の株主さま

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、単元未満株式の買取・買増請求等	<ul style="list-style-type: none"> 証券会社の口座に記録されている株式・・・口座を開設されている証券会社 特別口座に記録されている株式・・・みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 および みずほ銀行 の本店および全国各支店 (みずほ証券の本支店でもお取次ぎしております。)
支払明細の発行	みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店

② 優先株式をご所有の株主さま

各種ご請求・お手続き	みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店
------------	-------------------------------

■普通株式年間配当(1株当たり)

2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度 (予定)
42.5	44.0	44.0	44.0	40.0

(単位:円)

普通株式配当につきましては、自己資本の状況を踏まえ、中間配当を見送りとさせていただきます。また、優先株式は所定の中間配当とさせていただきます。

※2016年10月1日を効力発生日として、「普通株式10株を1株とする株式併合」を実施いたしました。左記の過去配当実績は比較のため「併合後の1株当たり配当金額」となっております。



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel: 076-423-7331

<https://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

株式会社 北陸銀行

経営企画部広報CSRグループ

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel: 076-423-7111

<https://www.hokugin.co.jp/>

株式会社 北海道銀行

経営企画部広報CSR室

〒060-8676

札幌市中央区大通西4丁目1番地

Tel: 011-233-1005

<https://www.hokkaidobank.co.jp/>

本冊子は、読みやすさや見やすさに配慮・工夫された書体（ユニバーサルデザインフォント）を採用しています。
ベジタブプリンキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しています。